

2016年9月16日

富士重工業 富士スバルライン周辺の環境維持活動に協力

富士重工業は、本日2016年9月16日、富士スバルラインを運営する山梨県道路公社富士山有料道路管理事務所(山梨県南都留郡富士河口湖町)に、フォレスター X-BREAK 1台をスバルラインのパトロールカーとして寄贈しました。また、富士山および富士北ろく地域の清掃と美化啓発に取り組む「富士山をきれいにする会」(山梨県甲府市)の清掃活動へ参加し、その活動資金として100万円を寄付しました。

富士スバルラインは1964年に供用開始された山梨県営初の富士登山有料道路で、その名称は一般公募により命名されました。開通式典には政府関係者、山梨県関係者とともに当社副社長(当時)の大原栄一が出席し、スバル360によるパレードランが行われるなど、当社にたいへん縁の深い道路です。

車両の寄贈ならびに寄付は当社の社会貢献活動の一環として、2014年に開始したもので、富士スバルラインを中心とした周辺地域の環境維持保全活動に対し、今後も継続的に幅広い協力や活動を行っていく計画です。



寄贈車両 フォレスター X-BREAK



寄贈式典の様子